

事業年度

1月1日～12月31日

期末配当金受領株主確定日

12月31日

中間配当金受領株主確定日

6月30日

定時株主総会

毎年3月

株主名簿管理人、特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137 - 8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号

お問合せ先：0120-232-711

上場証券取引所

東京証券取引所JASDAQ市場

公告の方法

電子公告により行う

公告掲載URL <https://www.convum.co.jp>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内



当社では、ホームページにてIR情報をはじめとして、企業情報を随時更新しております。ぜひご覧ください。

第66期 事業報告書

2016年1月1日～2016年12月31日

人を大切にし、創造性豊かなアイデアと顧客ニーズの融合により豊かな価値を作り出し、社会貢献に努めます。

妙徳グループ



企業理念

- お客様を大事にする
- 最適な労働環境の整備を通じて従業員一人一人が安心して働ける職場作り
- 各人のアイデアと顧客ニーズの融合による開発をモットーとする
- 他社との提携を推進し、これにより得られた利益は分け合う
- ガラス張りの経営
- 職場内のコミュニケーション(報・連・相)の重視
- 仲間同士が信頼しあう職場作り

「コンバム・パッドNo.1」をスローガンに、魅力ある製品づくりを通じて、社会から信頼される企業、継続的な企業成長を目指してまいります。

ごあいさつ

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第66期（2016年1月1日～2016年12月31日）の事業概況を謹んでご報告いたします。

代表取締役社長 伊勢 幸右



Q1 第66期の業績についてご説明ください。

国内においては、スマートフォン市場の成長鈍化を受け、設備投資に力強さが欠けましたが、営業体制を強化し拡販活動に取り組んだことなどにより、売上高は1,357百万円（前年同期比101.9%）となりました。

海外においては、韓国市場では、半導体製造装置業界、液晶パネル製造装置業界の需要減速の影響を受けたことなどにより、売上高は396百万円（同70.9%）となりました。中国市場では、スマートフォン市場の成長鈍化の影響を受けたことなどにより、売上高は187百万円（同69.5%）となりました。東南アジア市場では、タイ国を中心に拡販活動を推し進めてまいりましたが、タイ及び周辺諸国での自動車業界の需要減速もあり、売上高は82百万円（同94.3%）となりました。この結果、第66期の業績につきましては、連結売上高は2,251百万円（同92.1%）となりました。利益面については、連結経

常利益は284百万円（同63.7%）、親会社株主に帰属する当期純利益は186百万円（同76.4%）となりました。

Q2 今期の見通しと、主な取り組みについてお聞かせください。

2017年12月期の連結業績予想は、連結売上高2,384百万円、連結経常利益285百万円、親会社株主に帰属する当期純利益175百万円を見込んでおります。これらの目標を達成するため、以下の取り組みを実施してまいります。

営業、開発面においては、引き続き人員を増員し体制強化を図ってまいります。真空機器のパイオニアメーカーとして、真空技術に特化した研究開発に取り組むとともに、真空吸着搬送のノウハウを活かした営業活動を展開し、顧客ニーズを的確に捉え、要望に対応する新製品開発と拡販活動に取り組んで



まいります。特に、人口減少や少子高齢化の到来で労働力不足が課題となる中、省人化、自動化ニーズが堅調に推移すると予測される産業用ロボット市場に注力するため、ロボットメーカーとの協力体制を構築するとともに、関連展示会への積極出展及び拡

販活動を行ってまいります。また、世界全体を捉えた営業戦略を展開していくため、国内と海外の連携を強化し、一体となった販売活動を行うことにより、売上高シェアの拡大、顧客満足度の向上を図ってまいります。2016年には、更なる海外売上高の拡大に向けて米国にCONVUM USA, INC.を設立いたしました。北米と南米市場における新規顧客及び新規市場を開拓することを目指します。中期的には、継続して国内需要の取り込みと海外販売の拡大を行い、海外売上高比率50%を目標としてまいります。

製造面においては、顧客満足度の向上を目指して、製造工程の自動化による生産性の向上や、新基幹システムの稼働による業務効率の向上により、価格競争力の強化、納期対応力の強化に努めます。また、引き続き真空機器のパイオニアメーカーとしての品質維持と向上、グローバルな品質管理体制の構築に努めてまいります。

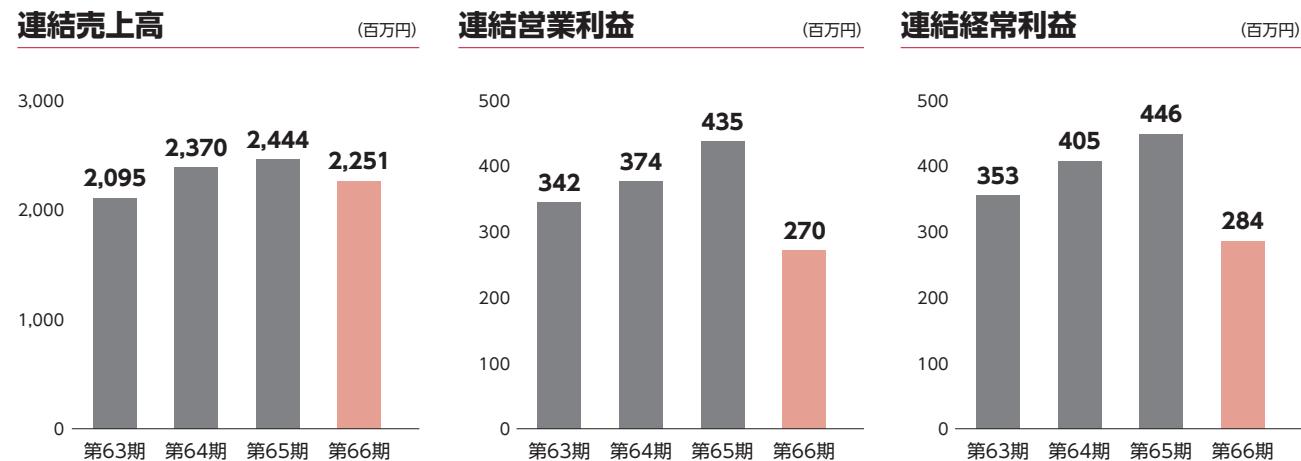
Q3 最後に株主の皆さまへメッセージをお願いします。

妙徳グループは、株主の皆さまならびにステークホルダーの方々のご期待に応えるため、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆さまへの利益配分につきましては、業績に応じた株主還元を基本方針とし、連結配当性向25%を目標としております。

このような方針のもと、第66期の配当につきましては、中間配当金を1株あたり4円00銭、期末配当金を1株あたり4円00銭（年間8円00銭）とさせていただきますことといたしましたので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆さまのご期待に沿えるよう、経営目標達成のために全力を上げて取り組んでまいりますので、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



コンバム 売上高 7億8千3百万円



日本市場においては、新規装置需要獲得の取り組みにより、ほぼ前期と同水準を維持しましたが、韓国市場における半導体製造装置業界、液晶パネル製造装置業界の需要減速、中国市場におけるスマートフォン市場の成長鈍化の影響などにより前期実績を下回り、当期の連結売上高は783百万円となりました。全製品に占める売上高構成比は34.8%となり、前年同期比2.3ポイント低下いたしました。

圧力センサ 売上高 1億7千7百万円



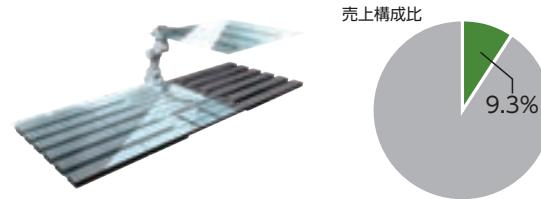
コンバム同様、主要顧客業種が半導体製造装置業界であることから、当期の連結売上高は177百万円となりました。また、売上高構成比は7.9%となり、前年同期比0.3ポイント低下いたしました。

吸着パッド 売上高 10億8千1百万円



新製品を市場投入し新規顧客の開拓に努めたものの、韓国、中国市場における新規設備に対する需要減少により、当期の連結売上高は1,081百万円となりました。売上高構成比は、コンバム、圧力センサの売上高構成比が低下したことにより48.0%となり、前年同期比1.5ポイント上昇いたしました。

FA機器その他 売上高 2億9百万円

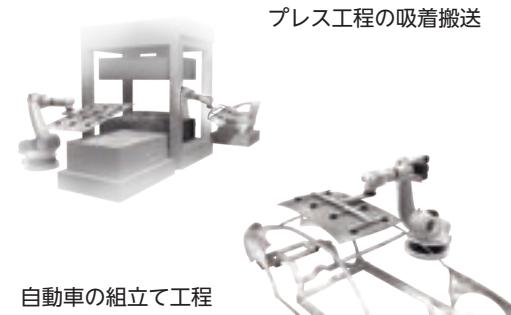


空気圧機器および真空ポンプ等の一般設備機器は、前期比で売上高は若干増加いたしました。液晶パネル関連業界での浮上搬送ユニット（CONFLOAT）の需要獲得に取り組み、当期の連結売上高は209百万円となりました。売上高構成比は9.3%となり、前年同期比1.1ポイント上昇いたしました。

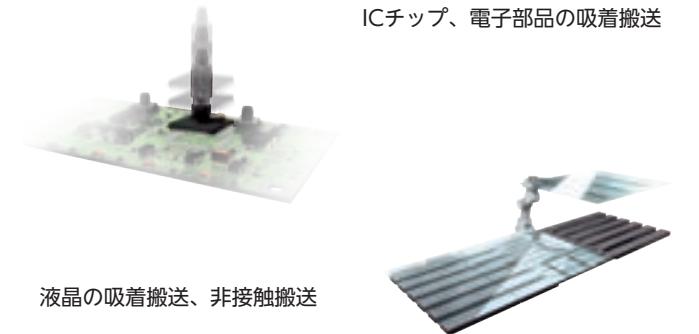
妙徳の製品や技術は様々な産業の生産現場で活躍 生産の自動化と品質の向上に貢献しています!!

当社の製品は、FA（ファクトリーオートメーション）機器として、様々な業種の製造工程や製造装置に組み込まれ、ご使用いただいています。主要製品である、コンバム（真空発生器）は、圧縮空気を利用して真空を発生させ、その真空を利用して吸着パッドを使用し、ワーク（吸着物）を持ち上げます。その使用事例の一部をご紹介します。

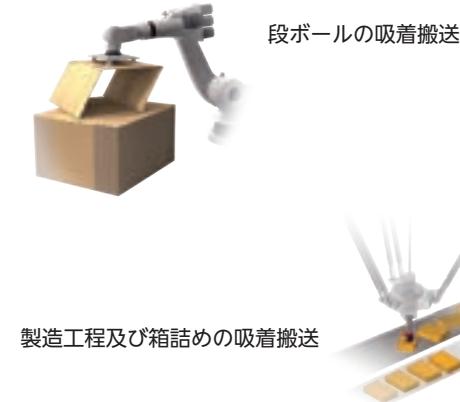
自動車産業



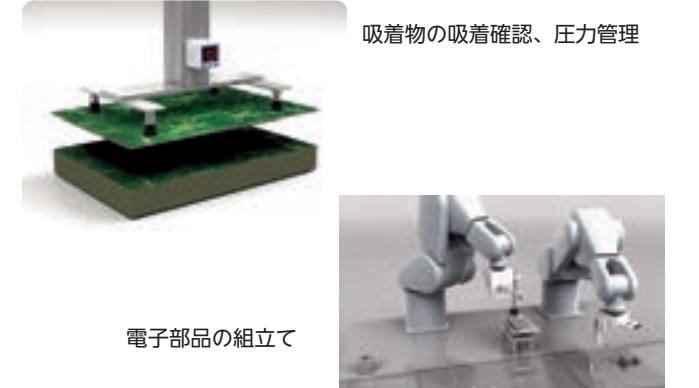
半導体産業



梱包・包装産業



その他の産業



トピックス1 CONVUM USA,INC. 設立

海外売上高の拡大を図るため、2016年8月、米国カリフォルニア州に販売子会社である、CONVUM USA,INC.を設立いたしました。従来、北米市場では販売代理店を通じての営業・販売促進活動を行ってまいりましたが、営業活動の強化を目的に2015年9月「北米市場開発室」を設立し、主に市場調査を実施してまいりました。北米市場は、自動車関連、半導体製造装置や梱包・包装装置需要を中心にアジア市場と同等の空気圧機器需要があることから、現地市場の要望に即した営業展開により売上拡大が見込めると判断したため、この度、CONVUM USA,INC.を設立いたしました。

2016年11月には、CONVUM USA,INC.の知名度を高め、コンバムブランドの認知度拡大を図るため、シカゴにて開催された「PACK EXPO International 2016」へ出展いたしました。展示会では、ご来場の皆様に真空機器の豊富なラインナップをご覧いただきましたが、中でも特に大排気量コンバムCVZシリーズへご注目いただきました。今後、北米市場での当社ブランドの認知度向上、北米市場向け新製品の開発と市場投入を目指し、営業活動を推し進めてまいります。



PACK EXPO 風景

トピックス2 本社ショールーム オープン

2016年6月、東京都本社ビル1Fに国内4ヶ所目となるショールームをオープンいたしました。ショールームは、東京都・矢口ショールーム、岩手事業所ショールーム、大阪営業所ショールームに続く設立となります。

ショールームでは、当社製品をご紹介しているほか、ユーザー様、装置メーカー様に気軽にお立ちよりいただき、実際に当社製品を使用した吸着テストを実施していただいております。お客様がお困りの問題に対する解決策をご提案する場として、今まで以上に拡充したショールームをお客様にご利用いただくことで、当社の豊富な真空吸着ノウハウのご提案を行ってまいります。



トピックス3 展示会への積極出展

より多くのお客様に当社製品とブランドを知っていただき、売上高シェアの拡大を図るため、展示会への積極出展を継続しています。2016年は日本国内で5回、海外で9回の展示会に出展しPRを行いました。

タイ国現地法人のコンバムタイランドでは、2016年11月に開催された来場総数9万名にのぼるASEAN地域最大の機械分野の展示会「METALEX THAILAND 2016」に出展し、当社製品とブランドのアピールを行いました。今後も、国内と海外の両市場において、売上高の拡大に向けて展示会への積極出展を継続して行い、製品とブランド認知度の向上、新規顧客の開拓を目指してまいります。



METALEX THAILAND 風景

トピックス4 新製品

大排気量コンバムCVZシリーズ

当社のコンバム（真空発生器）シリーズのラインナップ拡充を図るため、空気の吸込み流量が多いコンバムCVZシリーズの発売を開始いたしました。CVZシリーズは、通気性のある吸着対象物や、重い吸着対象物に対して最適な製品で、包装業界、自動車業界及び海外市場をターゲットとし売上拡大を図ってまいります。



パウチフィルム吸着用パッドPNGシリーズ

吸着パッドPNGシリーズは、吸着対象物への密着性を向上させ、従来の吸着パッドでは搬送の難しかった吸着対象物に対応する吸着パッドです。食品の入った袋製品などで、ロボットを使用した高速での吸着搬送が可能となります。食品や日用品等の製造工程の自動化に使用される産業用ロボット市場での売上拡大を目指します。



トピックス5 NHK「超絶 凄ワザ！」に出演

NHK総合テレビの人気番組、「超絶 凄ワザ！」に当社が出演いたしました。

「超絶 凄ワザ！」とは、「高い水準を誇る日本のものづくり。その技術力の極限は、どこまで高めることができるのか？」をテーマとし、これまでにない超絶品質の「腕試し」の作品に挑戦、厳格な基準をクリアするまでをドキュメントした、日本のものづくりの底力・奥深さを伝える番組です。

「リアルスパイダーマンを目指せ！究極の真空吸着対決」と題した今回の番組では、100Vの家庭用電源を使用すること、吸着面積に限られていること、という条件の中で、人が天井にぶら下がり、雲梯の様に進むことのできる装置の開発に挑みました。当社および対戦相手の2チームが、ぶら下がる人の重さや、天井の材質を変えたステージをどちらが多くクリアできるか競いました。番組は、2016年12月10日（土）、17日（土）の2週にわたって放送され、無事、当社は勝利をすることができました。放送後には数多くの反響をいただき、番組内で製作した吸着ハンドの引き合いも多数いただいております。番組での挑戦を通じて得た経験を、今後の製品開発に活かしてまいります。



開発した吸着パッド

(2016年12月31日現在)

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	第65期 2015年12月31日現在	第66期 2016年12月31日現在
資産の部		
流動資産	1,890,308	1,989,682
固定資産	2,235,508	2,249,661
資産合計	4,125,817	4,239,344
負債の部		
流動負債	254,192	265,420
固定負債	150,220	154,220
負債合計	404,413	419,640
純資産の部		
株主資本	3,591,146	3,711,410
その他の包括利益累計額	111,931	86,855
新株予約権	8,938	8,389
非支配株主持分	9,387	13,048
純資産合計	3,721,404	3,819,704
負債及び純資産合計	4,125,817	4,239,344

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	第65期 2015年1月1日～ 2015年12月31日	第66期 2016年1月1日～ 2016年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	318,745	475,818
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,025	△127,552
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,617	△66,712
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,159	△7,371
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	110,942	274,182
現金及び現金同等物の期首残高	624,962	735,905
現金及び現金同等物の期末残高	735,905	1,010,087

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	第65期 2015年1月1日～ 2015年12月31日	第66期 2016年1月1日～ 2016年12月31日
売上高	2,444,725	2,251,422
売上総利益	1,490,398	1,240,475
営業利益	435,552	270,064
経常利益	446,728	284,778
税金等調整前当期純利益	350,250	281,933
当期純利益	245,972	189,614
非支配株主に帰属する当期純利益	1,453	2,845
親会社株主に帰属する当期純利益	244,518	186,768

連結包括利益計算書

(単位：千円)

科目	第65期 2015年1月1日～ 2015年12月31日	第66期 2016年1月1日～ 2016年12月31日
当期純利益	245,972	189,614
その他の包括利益：		
その他有価証券評価差額金	25,917	4,208
為替換算調整勘定	△24,383	△29,427
その他の包括利益合計	1,533	△25,219
包括利益	247,505	164,394
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	247,010	161,692
非支配株主に係る包括利益	494	2,702

会社概要

社名	株式会社 妙徳
創立（設立）	1951年4月16日
資本金	7億4,812万5千円
本社所在地	〒146-0092 東京都大田区下丸子2丁目6番18号 TEL：03-3759-1491（代表）
国内事業所	岩手、東京、大阪、名古屋、福岡
連結子会社	妙徳空覇陸機械設備(上海)有限公司 妙徳韓国株式会社 CONVUM (THAILAND) CO.,LTD. CONVUM USA,INC.
従業員数	117名（連結従業員数）
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ

役員の状況 (2017年3月24日現在)

代表取締役社長	伊勢 幸治
専務取締役	角野 充彦
常務取締役	庄瀬 元洋
取締役	佐藤 穰
取締役	泉 陽一
取締役	岩元 武継 *
取締役	平野 実 *
常勤監査役	小畑 光伸
監査役	松本 博之 *
監査役	川野上 一春 *

*印は、それぞれ社外取締役、社外監査役です。

株式の情報

発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数
33,000,000株	8,285,000株 (その内自己株式 974,613株)	1,247名 (前期末比 29名増)

大株主（上位10名）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
伊勢興産株式会社	1,413,800	19.34
伊勢 すが子	630,100	8.62
伊勢 幸治	412,050	5.64
妙徳従業員持株会	249,250	3.41
中森 俊雄	220,000	3.01
株式会社日伝	140,000	1.92
神谷 信一	137,000	1.87
伊勢 三郎	126,500	1.73
泉 真紀	122,500	1.68
丸三証券株式会社	90,000	1.23

*持株比率は、自己株式（974,613株）を控除して計算しています。

株価チャート

